

平成25年度第2回知床世界自然遺産地域科学委員会  
河川工作物アドバイザー会議

# サケ科魚類遡上状況等 モニタリング調査結果 について ①

平成26年2月24日 北海道環境生活部環境局生物多様性保全課  
公益財団法人 知床財団

## 調査内容

### 1. 河川工作物改良遡上効果確認調査

#### 【サシルイ川】

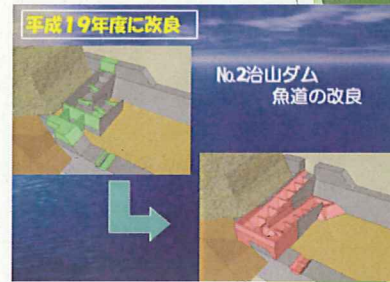
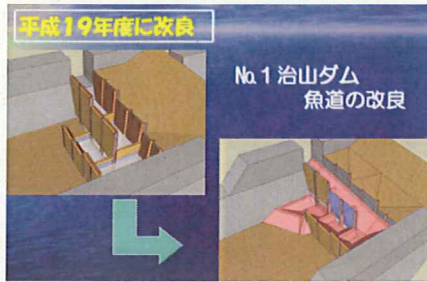
- ・ H22年に改良後3年の調査終了、基本的にうまく機能していると評価。
- ・ 調査終了後3年を経過、改良効果が維持されているのか確認

#### 【チエンベツ川】

- ・ H24年に改良後3年の調査終了、サケ類の遡上が可能となったが、シロザケは遡上数が少なく改良効果を十分に確認できていない。
- ・ 継続して改良後4年目の調査を実施。

# 1 河川工作物改良遡上効果確認調査

調査対象工作物の概要  
サシルイ川



3

# 1 河川工作物改良遡上効果確認調査

調査対象工作物の概要  
チエンベツ川

折返し階段式魚道の新規設置

第1ダム：平成20年、第2ダム：平成21年



第1 治山ダム 改良後



第2 治山ダム 改良後

# 1 河川工作物改良遡上効果確認調査

## 【調査の方法】

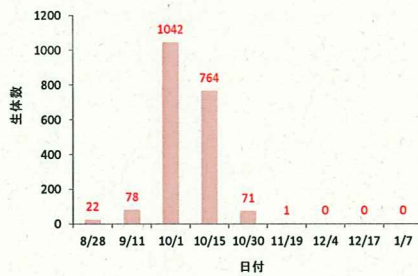
- ・ 河口付近に調査起点を設け、遡上可能範囲で調査
- ・ 河川工作物の上・下流でのカラフトマスとシロザケの産卵床数等の把握
- ・ 調査員1～2名
- ・ H25年8月～H26年1月 約2週間に1回、計9回実施



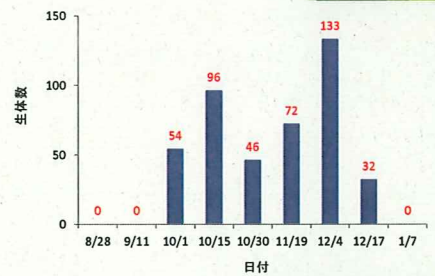
# 1 河川工作物改良遡上効果確認調査

サシルイ川  
調査日別の生体数

カラフトマス



シロザケ

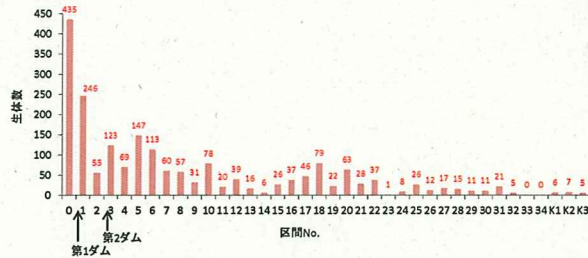


# 1 河川工作物改良遡上効果確認調査

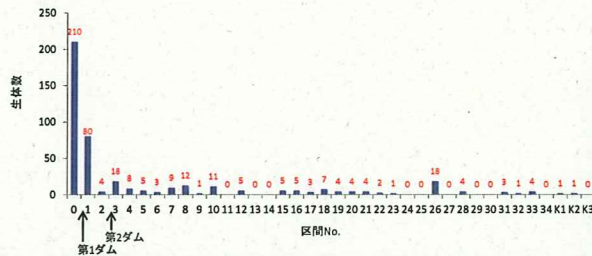
サシルイ川

調査区間別の生体数

カラフトマス



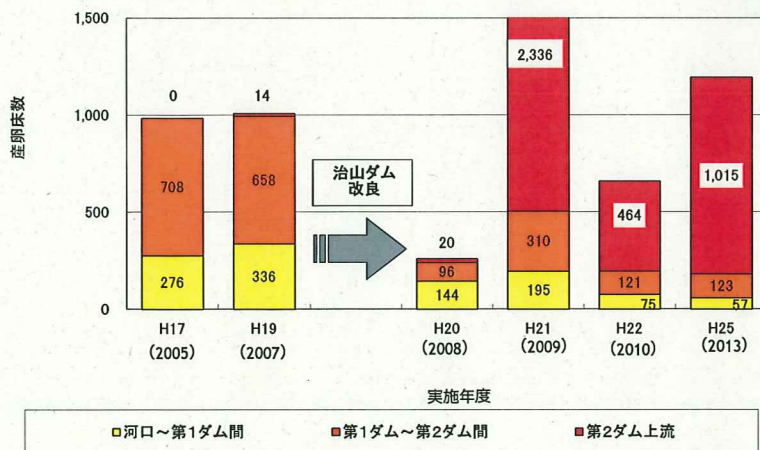
シロザケ



# 1 河川工作物改良遡上効果確認調査

サシルイ川

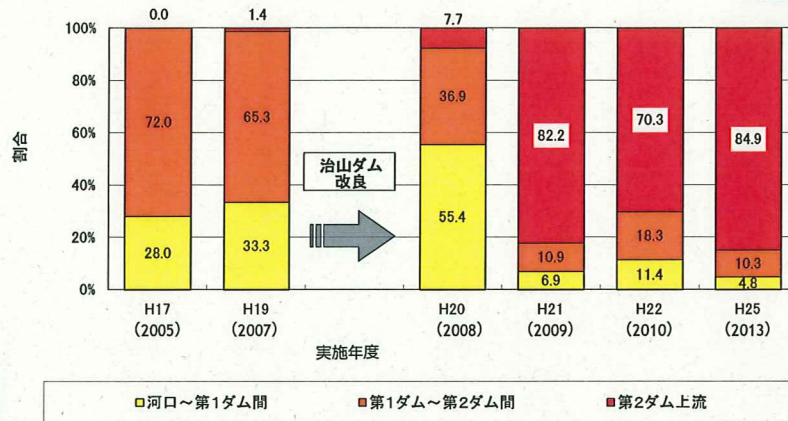
カラフトマス産卵床数の変化



# 1 河川工作物改良遡上効果確認調査

サシルイ川

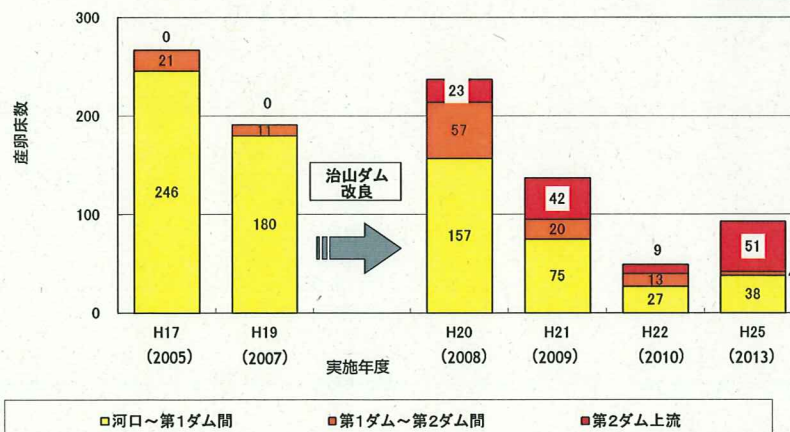
カラフトマス産卵床数の変化



# 1 河川工作物改良遡上効果確認調査

サシルイ川

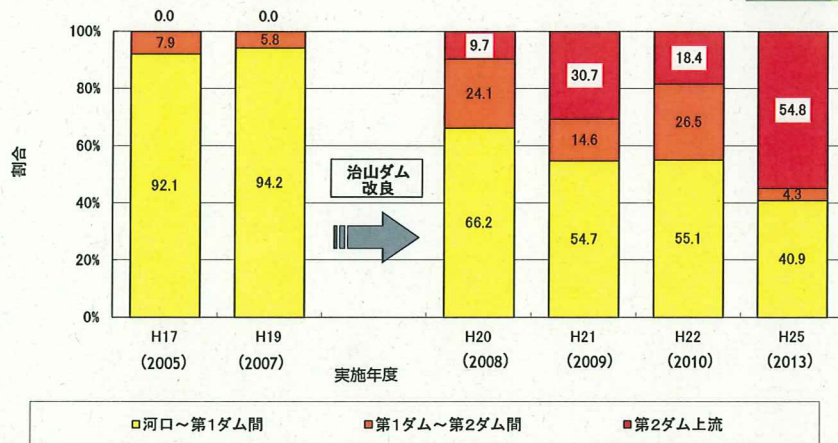
シロザケ産卵床数の変化



# 1 河川工作物改良遡上効果確認調査

サシルイ川

シロザケ産卵床数の変化

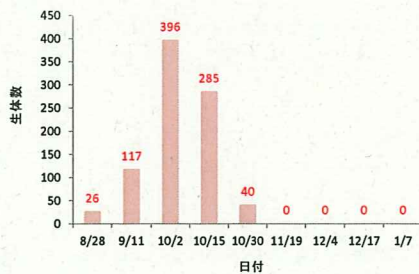


# 1 河川工作物改良遡上効果確認調査

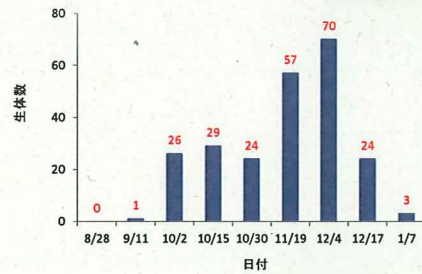
チエンベツ川

調査日別の生体数

カラフトマス



シロザケ

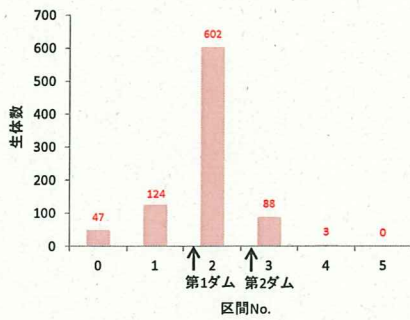


# 1 河川工作物改良遡上効果確認調査

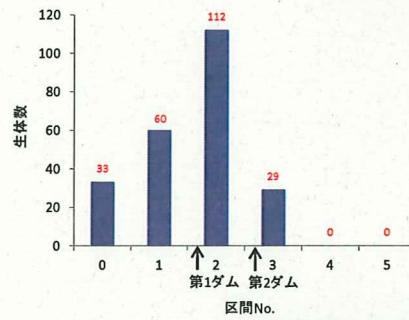
チエンベツ川

調査区間別の生体数

カラフトマス



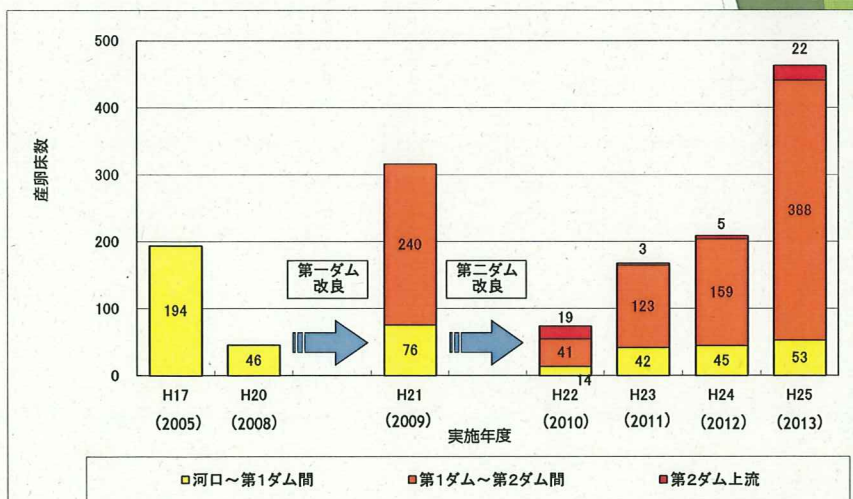
シロザケ



# 1 河川工作物改良遡上効果確認調査

チエンベツ川

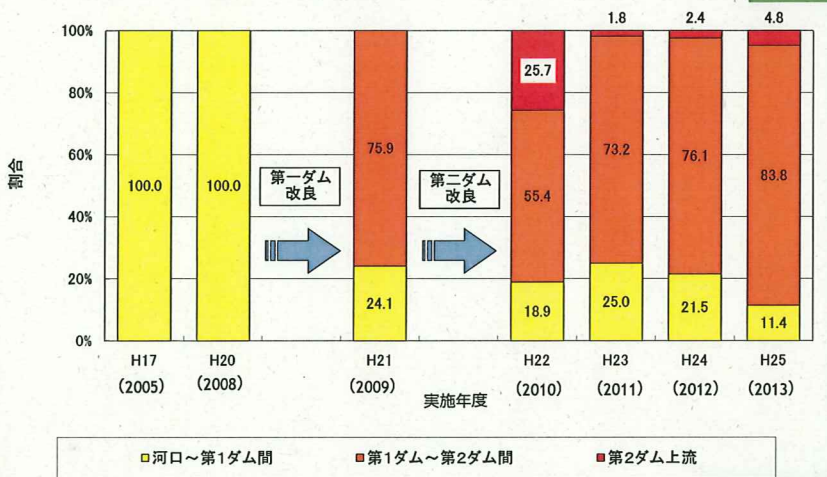
カラフトマス産卵床数の変化



# 1 河川工作物改良遡上効果確認調査

チエンベツ川

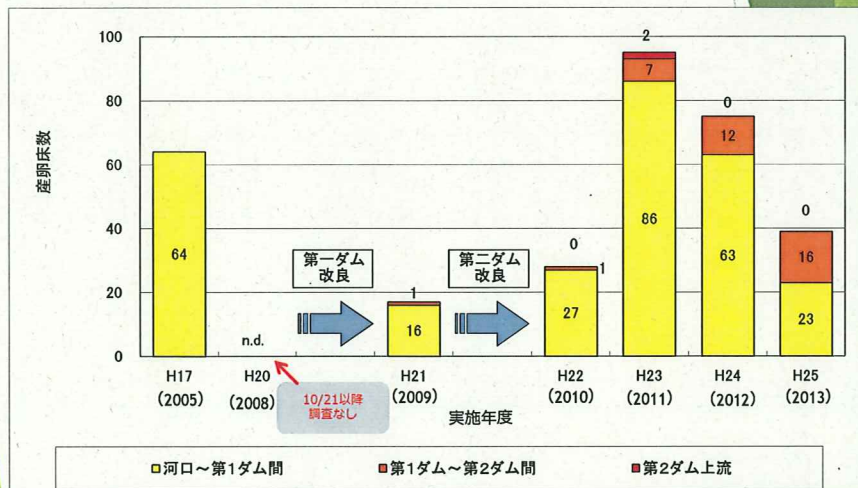
カラフトマス産卵床数の変化



# 1 河川工作物改良遡上効果確認調査

チエンベツ川

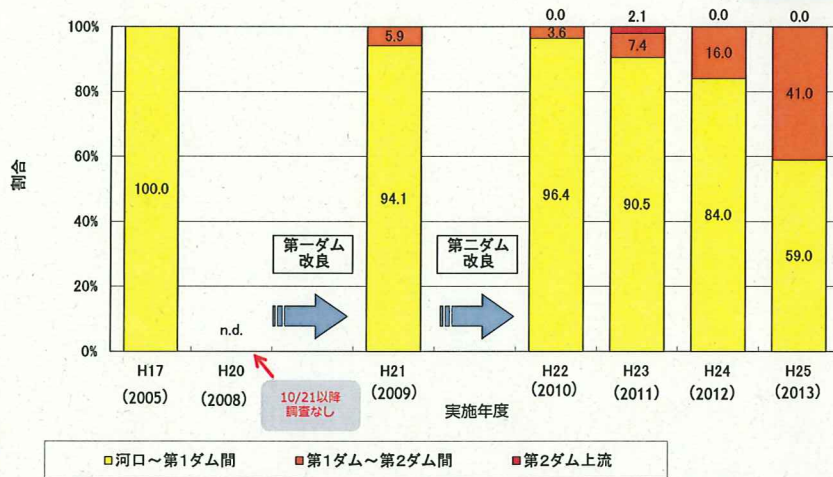
シロザケ産卵床数の変化





# 1 河川工作物改良遡上効果確認調査

チエンベツ川  
シロザケ産卵床数の変化



# 1 河川工作物改良遡上効果確認調査

## 【まとめ】

### ■ サシルイ川

#### ○ カラフトマス

産卵床は、H23年以降もダム上流側の割合が高くなっており、**改良の効果は維持されている。**

#### ○ シロザケ

産卵床数の割合は、H22年以前よりも**第1～第2ダム間で低くなったが、第2ダム上流側の割合が高くなっており、改良の効果は維持されている。**

### ■ チエンベツ川

#### ○ カラフトマス

産卵床は、H24年までと同様に第1～第2ダム間で割合が高くなっており、**改良の効果は継続している。**

#### ○ シロザケ

産卵床は、改良後第2ダム上流側での変化は認められないが、**第1～第2ダム間の産卵床数の割合は改良以降、徐々に高くなってきている。**